

平成21年12月1日

議長のお許しを頂きましたので、町政の諸般についてご報告申し上げます。

まず、経済情勢であります。内閣府が先月16日に発表した7 - 9月期の国内総生産（GDP）の速報値は、物価変動の影響を除いた実質で前期比1.2%増、年率換算では4.8%の増となり、2・四半期連続のプラス成長、かつ、2年半ぶりの高い伸びを記録しました。

その内訳を見てみますと、輸出や個人消費が2期連続で増加したことに加え、設備投資が6期ぶりにプラスに転じております。これは、春先からの輸出の好調と、エコカー減税やエコポイントなどの効果による国内消費の拡大が経済全体に好影響を及ぼしていることを示しております。一方、小売業界においては、「プライベートブランド」の拡充や690円ジーンズの登場など、低価格競争の動きが続いており、政府が発表した11月の月例経済報告では、日本経済は物価が持続的に下落する「緩やかなデフレ状況にある」と正式に表明がされました。物価が下がると消費者の購買意欲が増すというプラス面もあるものの、企業収益の悪化により、さらなる雇用の抑制や賃金の低下、生産設備の海外移転などを招き、経済全体が縮小に向かう悪循環に陥る恐れがありますので、適切な「デフレ対策」の実施が求められるところであります。

次に、国政であります。歴史的な政権交代による発足から2か月半が経過した鳩山内閣であります。政治の変革を求める国民の期待に加えて、大きな話題となっております「事業仕分け」の効果もあってか、依然として高い支持率を保っているようであります。反面、内政・外交ともに、少々足腰が定まらない印象を否めないところがあり、責任政党として、国益にかなう基本戦略を早期に確立することが望まれます。

また、衆議院選挙で掲げたマニフェストの内容については、これから順次、具体化が図られるわけですが、そのために必要な財源の確保や公共事業削減による地域経済への影響、あるいは温暖化対策の推進と高速道路無料化や暫定税率廃止の整合性の問題など、多くの課題を抱えております。国民本位の政治が展開されますことを期待するものであります。

続きまして、町政の状況についてであります。

まず、平成22年度の予算編成であります。予算編成方針につきましては、先般、議員各位にお知らせをさせて頂きましたとおり、最大の特徴は、喫緊の課題である学校・保育園の耐震対策事業に集中的な投資を予定していることであります。

また、第5次総合計画に掲げております町の将来像「心つなぎ みんな輝くまち 武豊」の実現に向け、中長期的な視点に立った適切な事業選択を行い、その着実な推進を図ってまいります。さらに、高齢化の進行等により、扶助費を始めとする社会保障関係費など、経常的な経費も増加傾向にあります。こうしたことから、新年度の一般会計予算は、過去最大となることが確実でありまして、現時点では、140億円台後半の規模を想定しているところであります。

一方、歳入におきましては、今回の経済危機の影響を受け、法人町民税を始めとして、町税収入が大きく落ち込んでおります。来年度は、さらに個人町民税が1割ほど減少する見込みであり、町税全体でも減収は避けられないと見ております。幸いにして、平成20年度までの数年間は、町内企業の好調な業績や定率減税の廃止、税源移譲等により税収が順調に伸び、財政調整基金を始めとする各種基金を積み増すことができましたので、この基金の取り崩しと町債の発行により、当面の財源不足に対処する予定であります。

なお、町の予算に影響を及ぼす国・県の予算編成であります。国の予算につきましては、政権交代による大幅な見直しが予想されるものの、今のところ、その具体的な内容は極めて不透明であります。また、県においては、大変厳しい財政状況が伝えられておりまして、本町にとってもマイナスの影響が出てくる懸念されます。従いまして、今後も引き続き、国・県の動向を注視して、本町に関わりのある、制度改正や財源措置の状況等、各般の情報収集に努め、遺漏のない予算編成をしてまいりたいと考えております。

次に、各所管についてであります。始めに総務部の関係であります。

まず、定額給付金であります。国の追加経済対策を受けまして、本町においては、3月31日から申請受付を開始いたしましたが、9月末に6ヶ月間の受付期間が終了し、12月末には給付金の交付も完了となります。給付対象者4万2,335人のうち、最終的な申請者は、4万1,834人で、率にして97.2%、給付金の総額は、6億2,994万4千円であります。未申請者数は501人で、大半が居所不明であります。独居老人等、周知や手続きが困難な方につ

きましては、民生児童委員やヘルパーの皆さんに声かけ等のご協力をいただいたところであり、ます。 現在、未給付の方が8人残っておりまして、今月中に給付をさせて頂く予定であります。

次に、「町制55周年記念事業」の関係であります。さる10月11日(日)に、「町制55周年記念式典」を町民会館「響きホール」において挙行いたしました。式典では、町内外から多数のご来賓にご臨席いただく中、町政に多大なご貢献をいただきました17名の方々を表彰させて頂きました。また、町に多額のご寄付をいただいた方々や、長年にわたり地域活動にご尽力いただいた方々など、15の団体等に感謝状をお贈りさせて頂きました。そして、同日開催の「第4回武豊ふれあい山車まつり」であります。天候にも恵まれ、約2万人のご来場をいただき、盛況のうちに無事終了することができました。ご来場の皆様には、町の山車文化を存分にご堪能いただくとともに、各地域との交流が図られ、人々の絆をより一層深めることができたものと思っております。これもひとえに、山車まつり実行委員会及び各山車組関係者を始め、各般各層の皆様方のご支援・ご協力の賜物と感謝しております。

また、10月23日には、町民会館輝きホールにおいて、NHKラジオ番組「ふるさと自慢・うた自慢」の公開録音が行われました。会場が満席となる盛況振りで、来年1月30日と2月6日の放送では、ご出演いただいた町民6名の方々により、「武豊のふるさと自慢」を全国に発信できるものと思っております。

次に、防災関係であります。10月8日未明に知多半島に上陸した台風18号は、丁度、50年前の伊勢湾台風に似たコースを辿り、大変心配を致しましたが、幸いなことに、中心が本町の東側を通過したため、被害は軽微でありました。この台風では、上陸前から衣浦港の潮位が急速に上昇したため、臨海部の防潮扉を消防団及び職員により閉鎖しました。災害時の防潮扉の開閉は、過去に例がありませんが、敏速に操作ができたのは、消防団員の日頃の訓練の賜物であります。災害時に臨機に対応するためには、実地訓練の積み重ねがいかに大切か、改めて認識したところであります。

そうした矢先、11月4日、日油株式会社愛知事業所において、従業員1名の尊い命が失われるという、事故が発生致しました。今回の事故は、昨年12月に発生した火災と同じ工室内で起きており、事業所の安全対策になお「甘さ」があったことを窺わせるものであり、大変遺憾に思うところであります。このため、町としては、11月12日付けの文書で事業所に

対し、事故原因の徹底究明と全業務の安全対策の再検証を求める要請をいたしました。また、11月17日には、臨時の「火薬類等施設安全対策連絡協議会」を開催し、今後の対応を協議しました。協議会としても、事業所の保安体制と安全対策を早急に検証し、事故の再発防止に向けた万全の措置を講ずるよう強く要請したところであります。

次は、厚生部の関係であります。

本年8月から工事着手の「多賀授産所せんべい製造施設」建設工事は、周辺住民の皆様を始め、通所者及びそのご家族のご理解とご協力のもと、予定どおり10月31日に完了いたしました。現在は、所要備品の搬入も終え、食品衛生法に基づく検査の結果を待っている状況であります。許可が取れましたら、直ちに新施設での「せんべいの製造」を開始し、気持ちも新たに通所者の就労支援活動に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、「憩いのサロン事業」についてであります。平成19年度から開所致しました「憩いのサロン」は、これまでの大足、玉貫、上ヶ、馬場、富貴地区に加え、本年6月に東大高会場を開所し、現在は6会場で多くの高齢者の方々にご参加を頂き、交流を深めて頂いております。更に、北山地区におきましても、去る11月12日に第1回、昨日、第2回目の「憩いのサロン準備会」を開催し、民生委員さんをはじめ、地域の方やサロンボランティアの皆さんなどで、開所に向けての具体的なご検討を頂いているところであります。

次に、六貫山保育園 耐震改築工事の関係であります。設計につきましては、10月末で完了いたしました。建築の概要であります。園舎本体、調理室、別棟の倉庫も含めた延面積は、合計で2,230.72平方メートルの計画であります。本12月議会に、工事費を継続費として補正予算案の提出をさせて頂いております。本年度中に一部工事に着手し、平成23年3月には、園舎工事を完了し、新園舎での保育を開始する予定であります。調理室・駐車場工事等は、平成23年9月末の完了予定であります。また、平成23年4月から、多賀保育園を六貫山保育園に統合し、新たな体制で保育を実施する予定であります。

次に、あおぞら園の整備工事についてであります。11月5日に、工事に着手致しました。感覚統合訓練室、相談室等の増築工事は、軽量鉄骨造、平屋建て、建築面積は、134.28平方メートルになります。既設保育室の改修工事も含めまして、来年2月末の完了を予定

し、あおぞら園は、来年4月から東大高保育園敷地内へ移設いたします。また、台風18号で被害がありました、東大高保育園屋根等につきましては、緊急災害復旧工事を完了し、11月16日から通常の保育体制で保育を再開致しております。

次に、保育園等基本方針の策定状況であります。この基本方針は、中長期的な視点から、保育園等の整備・運営につきまして、基本的な考え方を取りまとめるものであります。10月2日と11月20日に、保育所運営審議会を開催し、ご審議頂きました。今後は、パブリックコメントや保護者アンケートを実施するとともに、その結果を基に、更にご審議を頂く予定であります。

次に、「住宅用太陽光発電システム設置費補助金」の関係であります。11月12日現在、61件の交付申請があり補助金額ベースでの累計額は、430万円に達しております。内訳は、新築住宅17件、既設住宅が44件、最大出力値の平均は、3.96キロワットであります。今年、4月からの国の補助金と、11月1日からの新たな余剰電力の買取制度等が追い風となり、当初予測を大幅に上回る設置となっており、補正に次ぐ補正での対応にご理解をお願いするところであります。

次は、新型インフルエンザ対策関係であります。新型インフルエンザは本格的な流行を迎え、接種は政府が決めた優先順位に従い、愛知県では10月23日から感染者の治療に直接携わる医師や看護師ら医療従事者を皮切りに、妊婦、ぜんそくや糖尿病をはじめとする基礎疾患患者、幼児などの順で行われることとなりました。本町では、10月28日に「新型インフルエンザ対策本部員会議」を開催し、愛知県、医療機関等と連携・協力し、次の2点について、必要な措置を講ずることを確認致しました。1点目は、新型インフルエンザワクチン接種を受けた方の中、生活保護世帯及び町民税非課税世帯の優先接種者には、生活支援を図る観点から、費用負担がないよう公費での措置を講じます。2点目は、住民に対し、接種が受けられる時期、受託医療機関名等を周知するため、11月1日号の広報に折り込みチラシを各戸配布することとしました。また、ホームページには、最新の情報提供できるよう調整を図りました。さらに、11月14日には町内医療機関向けの説明会を開催し、ご理解・ご協力を賜りました。今後とも、感染の拡大防止、感染者への診療体制などに万全を期したいと考えております。

次は、産業建設部の関係であります。

さる11月7日・8日の2日間、「第26回武豊町産業まつり」が、町民会館で開催されました。天候にも恵まれ、多くの町民の皆さんにご来場を賜り、お楽しみを頂くことができました。なお、車両の通行規制等で、近隣の皆さんにご協力を頂きましたことに、この場をお借りし、厚くお礼を申し上げます。

次は、教育委員会の関係であります。

初めに、教育長のご報告させて頂きたいと思っております。現在の教育長の任期は、今年の12月31日までとなっておりますが、この任期満了をもって辞任したい旨、申し出を受けました。私と致しましては、澤田教育長に引き続き、教育委員としてお願いしたく、慰留に努めた訳ではありますが、辞任の意思が固く誠に残念ではありますが、この申し出を承諾することと致しました。澤田教育長におかれましては、平成16年10月1日に就任以来、5年3ヶ月、「いのちの教育」を主軸に熱心にご尽力いただき、武豊町の教育行政に多大なご貢献を頂きました。澤田先生には、教育委員という立場は離れますが、今後とも教育行政にお力添えを頂ければありがたいと思っております。後任の教育委員であります。本来であれば、この12月議会に選任同意案を提出させて頂くところではありますが、任期が1月1日から4年間という暦年での任期になっていることもあり、この時期に後任を選任することが難しい状況にあります。このため、後任の選任につきましては、平成22年3月議会にご提案申し上げ、ご同意いただければ4月1日からの任期とさせて頂きたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。申すまでもなく、教育委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し、識見を有する必要があるため、これから適任者を選任させて頂きたいと思っております。この間、教育長が不在となる訳ではありますが、「武豊町教育委員会事務局等組織規則」により、教育部長が、その職を代理しますので、よろしくお願い致します。

次に、学校校舎の耐震対策事業の進捗状況であります。まず、緑丘小学校校舎耐震補強工事につきましては、工事もほぼ完了に至り、現場周りの原型復旧を実施しているところであります。武豊中学校校舎耐震改築工事につきましては、現在、基礎杭の打設等の工事に着手しているところであります。平成22年12月の工事完了を目指し、冬休み後半に新しい校舎に引越しができるよう工事を進めてまいります。なお、本年6月議会で補正をお願い致し

ました、武豊中学校東校舎耐震調査であります。調査の結果、耐震基準値である I S 値 0 . 7 をクリアーしており、耐震工事の対象外でとなりましたことをご報告させていただきます。

次に、学校におけるインフルエンザの状況であります。年度当初からの児童生徒の発症者の累計は 1,400 を超え、本町でも、学級閉鎖や学年閉鎖の措置をしましてまいりました。本格的なインフルエンザの流行時期に入りますが、引き続き発症状況に注意をはらい、適正な措置を講じてまいります。

次に、韓国大光初等学校との交流事業であります。韓国においても新型インフルエンザが流行しており、来町が危惧されておりますが、現時点では、平成 2 2 年 1 月 9 日 (土) から 1 月 1 2 日 (火) までの 4 日間受入を予定しております。

次は、成人式の関係であります。来年 1 月 1 0 日の日曜日に、町民会館において開催を予定しております。現在、実行委員 8 名による「成人式実行委員会」を設置して、その準備を進めております。新成人者数は、男性 3 0 5 人、女性 2 5 1 人、合計 5 5 6 人です。昨年比 38 人の増となっております。韓国大光初等学校の皆さんが来町された場合、成人式当日、祝賀公演をお願いし、式に華を添えていただく予定をしております。

議員各位には、後日ご案内申し上げますので、ご臨席を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上で諸般報告とさせていただきます。